

島教高号外  
平成21年7月21日

各県立学校長 様

高校教育課長

新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査について（依頼）

新型インフルエンザ（ブタ由来・H1N1型）の海外発生から約3ヶ月が経過しました。県教育委員会では、WHO（世界保健機関）の声明や、政府の方針、ウィルスに関する科学的知見等を踏まえ、その都度、県教委本部としての方針を決定し、貴職あて情報提供を行ってきたところであります。

貴職におかれましては、この間、格別の御尽力と御協力を賜りましたことを衷心より御礼申し上げます。

さて、島根県では、これまでの具体的な対策の経過について、現場の意見を聞きながら全庁的な検証作業を行い、課題や改善すべき点の洗い出しを通じて、秋以降に予想される大規模な流行に備えることとなりました。

つきましては、下記によりアンケート調査を行いますので、御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 調査方法 別添資料「島根県教育委員会における『新型インフルエンザ対策』経過一覧」をあらかじめ御確認のうえ、別添のアンケート調査票に御記入ください。
2. 回答期限 **8月7日(金)までにアンケート調査票を次の宛先へ返送ください。**

**【回答の宛先】**

〒690-8502 松江市殿町1番地

島根県教育庁高校教育課 立石課長代理

TEL 0852-22-5408 FAX 0852-22-5762

**【回答の宛先】**

〒690-8502 松江市殿町1番地  
鳥根県教育庁高校教育課 立石代理  
TEL 0852-22-5408 FAX 0852-22-5762

**新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査票  
(県立学校 回答用)**

県立学校名 \_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございます。

回答者 職名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

**設問1. 対応マニュアルの弾力的運用について**

■ 平成21年3月に策定した「公立学校等における対応マニュアル」は、高病原性の鳥インフルエンザ(H5N1)がヒト型に変異することを想定したものです。今回の新型インフルエンザ(ブタ由来・H1N1)に対して、この対応マニュアルを一律かつ硬直的に適用することは適切でないとの判断から、県教委本部は、5月1日、弾力的に運用することを表明しました。

(1) 弾力的運用を表明した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 弾力的運用の内容として、当面、県外への修学旅行や教職員の県外出張等の自粛を求めないこととしましたが、この方針について、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )

**設問2. 「県内発生期」における学校の臨時休業措置について**

■ 「公立学校等における対応マニュアル」では、県内で一人でも患者が発生した時点で、すべての公立学校を一斉に臨時休業することが定められていましたが、県教委本部では、全国に先駆けて、原則として学校単位の臨時休業に留めるという対応(案)を5月12日に予告し、5月22日にその対応方針を確定しました。

(1) 臨時休業措置に関する本県独自の対応(案)を表明した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 本県独自の方針として、原則として学校単位の臨時休業にとどめることとしましたが、この方針については、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )

**設問3. 関西方面への修学旅行、部活動遠征等の延期又は中止の要請について**

■ 5月16日、国内初の感染事例となった神戸市・大阪府では、学校での大規模な集団発生が見られ、感染源や感染経路等を特定できない「蔓延状態」に至った可能性も想定されたため、県教委本部では、5月18日、関西方面への修学旅行、部活動遠征等の延期又は中止を要請しました。

また、国立感染症研究所の疫学調査報告で示された科学的知見を踏まえ、6月9日、この延期・中止要請を解除しました。

(1) 修学旅行等の延期・中止を要請した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 延期・中止要請を解除した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(3) 修学旅行等の延期・中止を要請した県教委本部の判断について、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )



島教総号外  
平成21年7月21日

各市町村教育委員会  
新型インフルエンザ対策担当課長 様

島根県教育庁総務課長

新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査について（依頼）

新型インフルエンザ（ブタ由来・H1N1型）の海外発生から約3ヶ月が経過しました。県教育委員会では、WHO（世界保健機関）の声明や、政府の方針、ウィルスに関する科学的知見等を踏まえ、その都度、県教委本部としての方針を決定し、貴職あて情報提供を行ってきたところであります。

貴職におかれましては、この間、格別の御尽力と御協力を賜りましたことを衷心より御礼申し上げます。

さて、島根県では、これまでの具体的な対策の経過について、現場の意見を聞きながら全庁的な検証作業を行い、課題や改善すべき点の洗い出しを通じて、秋以降に予想される大規模な流行に備えることとなりました。

つきましては、下記によりアンケート調査を行いますので、御協力いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 調査方法 別添資料「島根県教育委員会における『新型インフルエンザ対策』経過一覧」をあらかじめ御確認のうえ、別添のアンケート調査票に御記入ください。
2. 回答期限 **8月7日(金)までにアンケート調査票を次の宛先へ返送ください。**

#### 【回答の宛先】

〒690-8502 松江市殿町1番地

島根県教育庁総務課 原主任

TEL 0852-22-6202 FAX 0852-22-5400

**【回答の宛先】**

〒690-8502 松江市殿町1番地  
島根県教育庁総務課 原主任  
TEL 0852-22-6202 FAX 0852-22-5400

**新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査票  
(市町村教育委員会 回答用)**

市町村教育委員会名

ご協力ありがとうございます。

回答者 職名 氏名 TEL

**設問1. 対応マニュアルの弾力的運用について**

■ 平成21年3月に策定した「公立学校等における対応マニュアル」は、高病原性の鳥インフルエンザ(H5N1)がヒト型に変異することを想定したものです。今回の新型インフルエンザ(ブタ由来・H1N1)に対して、この対応マニュアルを一律かつ硬直的に適用することは適切でないとの判断から、県教委本部は、5月1日、弾力的に運用することを表明しました。

(1) 弾力的運用を表明した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 弾力的運用の内容として、当面、県外への修学旅行や教職員の県外出張等の自粛を求めないこととしましたが、この方針について、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )

**設問2. 「県内発生期」における学校の臨時休業措置について**

■ 「公立学校等における対応マニュアル」では、県内で一人でも患者が発生した時点で、すべての公立学校を一斉に臨時休業することが定められていましたが、県教委本部では、全国に先駆けて、原則として学校単位の臨時休業に留めるという対応(案)を5月12日に予告し、5月22日にその対応方針を確定しました。

(1) 臨時休業措置に関する本県独自の対応(案)を表明した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 本県独自の方針として、原則として学校単位の臨時休業にとどめることとしましたが、この方針については、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )

**設問3. 関西方面への修学旅行、部活動遠征等の延期又は中止の要請について**

■ 5月16日、国内初の感染事例となった神戸市・大阪府では、学校での大規模な集団発生が見られ、感染源や感染経路等を特定できない「蔓延状態」に至った可能性も想定されたため、県教委本部では、5月18日、関西方面への修学旅行、部活動遠征等の延期又は中止を要請しました。

また、国立感染症研究所の疫学調査報告で示された科学的知見を踏まえ、6月9日、この延期・中止要請を解除しました。

(1) 修学旅行等の延期・中止を要請した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(2) 延期・中止要請を解除した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他 ( )

(3) 修学旅行等の延期・中止を要請した県教委本部の判断について、いかがお考えですか。

適切だった  適切でなかった(具体的には、 )

#### 設問4. 国の方針改定を受けた島根県の方針変更について

■ 6月19日、国は、秋冬に向けて新型インフルエンザ患者の大幅な増加が起こりうることを想定し、社会的、経済的影響を最小限に止められる体制を整備するため、対処方針を改定しました。専用の「発熱外来」を廃止して一般の医療機関で受診できるようにしたほか、新型患者を確定するためのPCR検査も「全数把握方式」から「クラスターサーベイランス（集団探知）方式」へ変更されました。

これを受け、県教委本部は、6月22日、全国に先駆けて「県内発生期」の対応方針を改定するとともに、今後の新型インフルエンザ対策を的確に実施するうえで、学校と保健所との連携が極めて重要であることを理解していただくため、7月6日～7日、学校関係者を対象とする説明会を開催しました。

(1) 「県内発生期」の対応方針を改定した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他（ ）

(2) 学校関係者向けの説明会を開催した時期については、いかがお考えですか。

早すぎた  適切だった  遅すぎた  その他（ ）

(3) 説明会は、学校と保健所との連携を図っていくうえで、有意義なものでしたか。

有意義だった  有意義ではなかった（具体的には、 ）

(4) 今後、学校と保健所との連携を図っていくうえで、また、保健所の「クラスターサーベイランス」に協力していくうえで、よくわからない点や、ご心配な点などがありましたら、自由にご記入ください。

#### 設問5. 教育委員会ホームページによる情報提供について

■ 県教委本部では、新型インフルエンザ対策の実施に当たって、500校を超える公立学校が、迅速に情報共有を行うための手段として、ホームページによる情報発信に力を入れてきました。通知文書のFAX送信と同時にホームページに文書データを掲載したり、国内外の感染動向やウィルスの科学的知見等についても最新情報の提供に取り組んできました。

(1) 教育委員会ホームページは、新型インフルエンザ対策を進めるうえで、役に立ちましたか。

役に立った  役に立たなかった（具体的には、 ）

(2) 今後、教育委員会ホームページに掲載してほしい情報や、情報提供の方法などについてご希望があれば、自由にご記入ください。

#### 設問6. 小中学校等への情報伝達方法について

(1) 貴市町村教育委員会では、県教委本部からの情報提供を受け、管内の小中学校等に対して、どのような方法で情報伝達を行ってこられましたか。具体的な情報伝達方法をご記入ください。

#### 設問7. 課題や改善すべき点について

(1) 秋以降に予想される大規模な流行に備えるため、教育委員会における具体的対策の面で、課題や改善すべき点はありませんか。自由にご記入ください。